

事業概要シート

施策 0502 スポーツの振興

《》の金額 現年度当初・補正予算、前年度繰越額の合計
 ※ 補正予算要求時は今回の補正予算額を除く。
 ※ 次年度予算要求時は次年度繰越額を除く。

事業名	スポーツイベント開催事業	現状維持	予算額	3,230 千円
事業期間	~		《 3,762 》千円	
根拠法令 要綱等		財源内訳	国庫支出金	千円
			県支出金	千円
			地方債	千円
			その他	千円
			一般財源	3,230 千円

【事業の目的・概要・対象】

目的

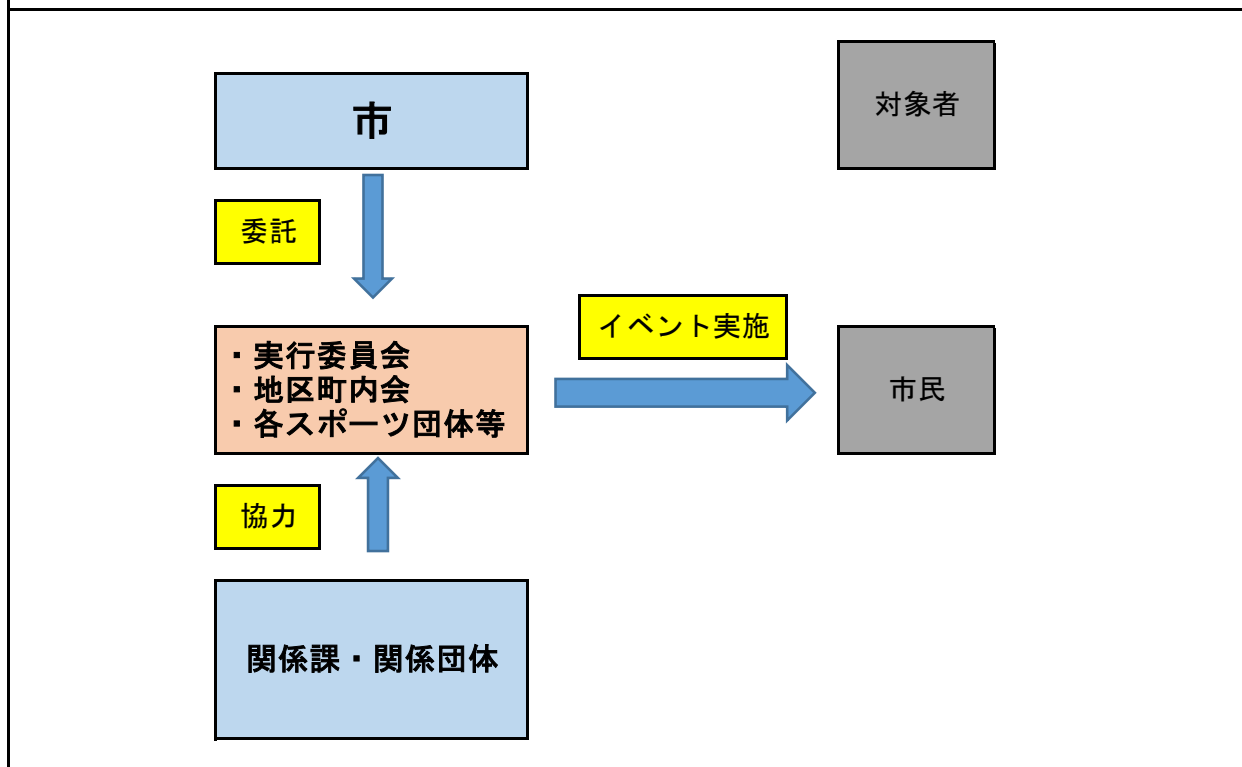
スポーツイベントの開催により、住民にスポーツを通じた親睦と健康づくりの場を提供し、参加してもらうことで生涯を通じた継続的なスポーツ活動の促進を図る。

概要

市民スポーツ大会、ロードレース大会、陸上カーニバル、市民ウォーク、チャレンジデー、ニュースポーツフェスティバル、市民体力測定会等の市民スポーツイベントを実施する。

対象 市民

令和2年度は、市民を対象に、市内の名所及び史跡を巡る「ミニ・オリエンテーリング大会」を開催し、大村市の活性化や参加者の健康増進及び郷土学習の推進を図る。



【背景】

市民スポーツ大会は地区によっては高齢化や競技離れにより、参加者が減少している。そこで、市民の参加を促すために平成29年度から新しくボウリング競技、平成30年度にサッカー競技、令和元年度にペタンク競技を増やした。令和2年度以降も競技種目を検討し、誰もが参加しやすい市民スポーツ大会にしていく必要がある。
 チャレンジデーについては、目標の参加率70%に届いていないが、年々参加者数は増えてきている。
 ミライon完成記念事業として、「夏期巡業ラジオ体操」のイベントを令和元年度に開催する。
 令和2年度に郷土学習とスポーツを絡めた、市内名所及び史跡を巡る「ミニ・オリエンテーリング大会」の開催を予定している。

担当課	市民環境部 スポーツ振興課	課長	スポーツ振興課長 尾曲 芳行
担当者	林田 海季	問合せ先	0957-53-4111 (内線187)

事業概要シート

【活動指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	イベント実施数 (市民スポーツ大会、ロードレース大会、陸上カーニバル、市民ウォーク、チャレンジデー、ニュースポーツフェスティバル、市民体力測定会)	計画値 回	7	8	8	7	7
②		計画値					

【成果指標】

指標名		単位	H30 (実績)	R1 (計画)	R2 (計画)	R3 (計画)	R4 (計画)
①	イベント参加者数 (チャレンジデー除く)	計画値 人	6088	7300	7500	7500	7500
②		計画値					

【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H29	H30	R1	R2	R3	R4	合計
事業費	3,476	3,631	3,762	3,230	3,230	3,230	20,559
国庫支出金							0
県支出金							0
地方債							0
その他	2,995						2,995
一般財源	481	3,631	3,762	3,230	3,230	3,230	17,564
人件費	10,381	8,761	8,601	8,601	8,601	8,601	53,544
職員(人)	1.15人	1.05人	1.05人	1.05人	1.05人	1.05人	6.40人
時間外勤務(h)	824h	470h	390h	390h	390h	390h	2854h
嘱託員(人)	0.20人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.10人	0.70人
フルコスト	13,857	12,392	12,363	11,831	11,831	11,831	74,103

妥当性 (市の関与)	市民スポーツ大会等は町内会長会連合会や大村市スポーツ推進委員協議会、体育協会加盟団体等の協力のもとに大会運営を行っており、大会を統率、実施する上で市の関与は必要である。
有効性 (施策貢献度)	スポーツイベント本来の目的である市民の健康づくりに大いに貢献している。
効率性 (コスト)	運営費に関しては見直しを行い最小の経費としており、これ以上の直接的な経費の削減は難しい。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり